

## 実物大ユニコーンガンダム立像の前で輝く世界一の栄冠は誰の手に!? 「ガンプラビルダーズワールドカップ(GBWC) 2017 世界大会決勝戦」

16の国と地域から28人のファイナリスト作品が集結!

日程:2017年12月17日(日) 14:00~ 会場:THE GUNDAM BASE TOKYO

特別審査員はメカニックデザイナーの大河原 邦男さん

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、ガンプラ作りの世界一を決めるコンテスト「ガンプラビルダーズワールドカップ(GBWC) 2017 世界大会決勝戦」を、2017年12月17日(日)に THE GUNDAM BASE TOKYO で開催します。

7回目の開催となる世界大会決勝戦では、各国・各地域ごとの大会を勝ち抜いた、ジュニアコース(14歳以下)12作品、オープンコース(15歳以上)16作品の計28作品が一堂に集結します。当日は、特別審査員にメカニックデザイナーの大河原 邦男さんを迎え、世界1~3位の発表や別賞「GUNDAM docks at TOKYO JAPAN賞」や「特別審査員賞」の選出・表彰を行います。本大会は年々注目が高まっており、当日は表彰式の様子をWEBで配信するほか、会場内観覧コーナー(無料・立ち見)より一般の方もご覧いただけます。今年の世界一の栄冠は誰の手に輝くのか、ぜひご注目ください。



「ガンプラビルダーズワールドカップ 2016 世界大会決勝戦」表彰式の様子

### 【ガンプラビルダーズワールドカップ(GBWC) 2017 世界大会決勝戦 開催概要】

日時	12月17日(日)14:00~
会場	THE GUNDAM BASE TOKYO(東京都江東区青海 1-1-10 ダイバーシティ東京 プラザ 7階)
主催	株式会社バンダイ ホビー事業部
特別審査員	大河原 邦男(メカニックデザイナー)
参加国・地域	日本、中国、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、イタリア、フランス、ベトナム、アメリカ、カナダ(16の国と地域の世界20都市、順不同)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者代表挨拶</li> <li>・審査員のご紹介</li> <li>・「GUNDAM docks at TOKYO JAPAN賞」、「特別審査員賞」の表彰</li> <li>・ジュニアコース/オープンコース1位~3位の表彰</li> <li>・記念撮影 実物大ユニコーンガンダム立像の足元にて(雨天の場合は「THE GUNDAM BASE TOKYO」にて)</li> </ul>
公式サイト	<a href="http://www.bandai-hobby.net">www.bandai-hobby.net</a> (バンダイホビーサイト)、 <a href="http://www.bandai-hobby.net/GBWC/japan/">www.bandai-hobby.net/GBWC/japan/</a> (ガンプラビルダーズワールドカップ日本公式サイト)

### 大河原 邦男さん プロフィール

おおかわら くにお  
大河原 邦男

1947年12月26日、東京都生まれ。多数のアニメーション作品などのメカニックデザイナーとして活躍中。

『機動戦士ガンダム』(1979年)では主役機の「ガンダム」など登場モビルスーツのメカデザインを務める。

近年ではアニメーションの仕事の他、東京都稲城市の Mascotキャラクター「稲城なしのすけ」や未来型の超小型モビリティ「machina(マキナ)」のデザイン、海外からのフィギュアデザインのオファーを受けるなど、国内外で精力的に活動。

2013年、長年にわたる業績が評価され文化庁メディア芸術祭にて功労賞を受賞。

## 「ガンプラビルダーズワールドカップ」とは？

「ガンプラビルダーズワールドカップ」とは、ガンプラの工作技術・塗装技術・アイデアなどを競うバンダイ主催の公式大会で、15歳以上のオープンコースと、14歳以下のジュニアコースで開催。海外エリアの地区予選開催都市である世界約20都市(16の国と地域)で5月より予選大会を順次開催し、各エリアのファイナリスト作品を決定しています。

## 「ガンプラビルダーズワールドカップ 2017」日本代表について

今年の5月より受付を開始した「ガンプラビルダーズワールドカップ 2017 日本大会」。先月「THE GUNDAM BASE TOKYO」にて日本大会決勝戦を開催し、オープンコース(15歳以上)は、モデラーネーム「下田重工業」と下田 広己さん(33歳)の“最大級のガンプラであるDENDROBIUMを50cm角のカットモデル”として製作した「RX-78 GP03 DENDROBIUM」が優勝。ジュニアコース(14歳以下)は、畑 めいさん(14歳)の“ガンダムバルバトスルプスレックスの最期の戦いを畑さんのイメージ”で製作した「悪魔との契約～最期の代償～」が優勝しました。2人の日本代表が、16の国と地域が参加する「世界大会決勝戦」に挑みます。

日本大会 オープンコース優勝 日本代表 下田 広己さん(神奈川県/33歳)  
「RX-78 GP03 DENDROBIUM」



### 【アピールポイント】

ガンダムの世界観からの逸脱やケレン味溢れるミキシング大型装備だけがアイデアやオリジナリティではないはず！ガンダムの世界観を大事にすることも日本らしさと考え、アイデア/オリジナリティとの両立を目指し、最大級のガンプラであるデンドロビウムを50cm角のカットモデルとして製作しました。

しもだ ひろき  
下田 広己さん

1984年8月23日生まれ、神奈川県横浜市在住。

小学生の頃にSDガンダムをよく作っていました。中学・高校では部活に夢中でプラモデルからは離れていましたが、2013年のGBWCを見て自分もオリジナルのガンプラでこの舞台に挑戦したいと思い、本格的に製作を開始しました。



日本大会 ジュニアコース優勝 日本代表 畑 めいさん(北海道/14歳)  
「悪魔との契約～最期の代償～」



### 【アピールポイント】

右目や右腕、そして右半身…。バルバトスの力を引き出すたびに三日月・オーガスは代償を支払ってきました。最期の戦いするとき、三日月は悪魔に自らの生命までを差し出して悪魔的な強さを手に入れて、仕事を果たしたかのように私には思えました。その悪魔との取引の心象風景をジオラマにしました。

はた めいさん  
畑 めいさん

2003年5月8日生まれ、北海道小樽市在住。

小学1年生のときにガンプラに出会い、コンテストや展示会を通じて作品を見てもらうことの喜びを知る。自分が楽しみながら見る人も楽しめるような作品を作ることが目標。

